

小論文試験

令和5年10月20日

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問題】以下の文章を読み、1)と2)の設問を解答しなさい。

現在、日本社会では、少子高齢化という人口現象が急速に進展している。こうした状況の下、日本の消費市場では、消費者の需要の多極化が進展する一方で、消費者の商品やサービスの購買行動において量的な減少と質的な選択という消費傾向が広がっている。鮮魚商や青果商等に象徴される業種的商業や百貨店の衰退が加速度的に進行し、また総合スーパー等の従来型の量販店も商業機能の複合化（例えば、ショッピングモールのような）に向けた事業の再編を進める動きを速めている。さらに社会のIT化とAI化の技術革新の進展は、国内に広く浅く分散した需要情報を掘り起こして組織化し、ネット通販、ネットスーパー、電子マネー決済、並びに宅配サービスを拡大させている。このことは、消費者サイドにおいては商品の供給と需要との間に存在する流通上の距離を短縮させる効果をもたらしているものの、その一方で物流業界において人手不足等の業務上の負荷を、さらには過重労働のような労働問題をも生み出している。今、日本の流通構造は大きな転換期を迎えている。

- 1) あなたが日本の流通構造の変革において取り組むべきと考える課題を一つだけ提起しなさい。ただし、課題に取り組むべき主体（例えば、企業、政府、あるいは市民運動等のような主体）とその役割についても述べること。
- 2) あなたが上記の設問で提起した課題を日本の流通構造の変革においてなぜ重要であると考えたのか、その理由を述べなさい。